

地域チャレンジ！公募提案型協働事業が決定しました

閩協働推進室 ☎32-2032

市では、地域が抱えるさまざまな課題や問題を、市民活動団体や事業者などの活動を通じて解決することを目指す「公募提案型協働事業」を実施しています。今年度は次の6団体の事業を採択しました。

見えない障害・高次脳機能障害

「地域で暮らすために」

団体名 高次脳機能障害者と家族の集い「つるの会」

内容 障害に対する住民などの理解を深めるシンポジウムを開催する（10月25日(土)開催）

地域で育てる「なかよし探見隊」

団体名 新田町内会

内容 高齢者が中心となり、子どもたちに自然の中での体験や遊びを通じて子育て支援を行う

宮古島市と連携したミュージカルを介する環境保護教育活動

団体名 みゅーじかる劇団きんちゃん座

内容 宮古島市の環境問題への取り組みなどを紹介するミュージカルを制作・上演し、環境問題への注意喚起を行う

心と体の根っこを育てる

コミュニケーション・ワークショップ

団体名 特定非営利活動法人オレンジハート

内容 不登校や引きこもりの子どもたちや、保護者などを支援し、食事改善とコミュニケーションを題材にした講演会などを開催する

津山デザインファクトリーを立ち上げます！

団体名 津山工業高等学校

内容 デザイン科の生徒が、市内事業者から依頼された事業の企画、運営を行う。また、キャラクターやマークなどのデザインを提供する

津山ショウガPR大作戦

団体名 津山東高等学校

内容 津山ショウガまつりの開催やPRソングを制作し、津山産ショウガの販売促進と認知度を向上させる
（津山ショウガまつり 10月26日(日)開催）



市長 PTAや公民館の活動、生涯学習財バンクなどで、道徳の大切さを講演していただくことができます。地域教育力の向上を目指した取り組みを一緒に進めたいです。

参加者 ある小学校で、児童の授業態度が悪くなった時、PTAや町内会などが、学校訪問を行うことで、児童が落ち着いたということがありました。また、ある中学校では、現在、授業時

市長 市内の商工業の団体などに、活

参加者 経営者に対しても、自己の利益だけでなく、社会貢献など、道徳的な理念を持つことが大切であることを伝えたいです。

市長 内容や情報発信の方法など、参加してみたいと思わせるような仕組みが大切ですね。

参加者 子どもに対する親の悩みは、幼児期だけでなく、高校・大学へ進学した後も尽きません。親の心のケアを行う会を開催していますが、参加は多くないのが実情です。

市長 問題によっては、学校を地域に開放することで、子どもや親が本気になる、事態が収束していくことがあると思います。子どもたちには、授業や地域活動全般を通して、感謝の心や自立の心などを身に付けてほしいですね。

参加者 心づくりなど、道徳について市民の皆さんに伝える活動をもっと広げていきたいと思っています。

道徳の大切さを地域に伝える活動を行っている会の皆さんと市長が意見交換を行いました。

第12回

とき 7月2日(水)

テーマ

道徳の大切さ

参加者

北原 新造さん
長船 毅さん
福田 幸夫さん
柴田 美智子さん

市民と市長のふれあいトークを開催しました

閩秘書広報室 ☎32・2029

交通安全教室の受付

閩環境生活課(市役所1階1番窓口) ☎32-2056

市では、交通指導員が学校や地域の集会施設などに出向いて交通安全教室(ビデオ上映・講話・実技指導など)を行っています。

申し込みを随時、受け付けています。

対象 幼稚園や保育所(園)、小・中学校、町内会、老人クラブ、親子クラブなどのグループ単位

開催日・時間 月・火・木・金曜日(祝日は除く)、1回2時間程度

申込方法 電話または直接申し込む(先着順)

夜行タスキを配布しています

市では、夜間、安全に歩行するために夜光タスキを配布しています。

配布場所 環境生活課、各支所市民生活課

配布数 1人に付き1本(先着順)

※詳しくは、お問い合わせください



ルールを守ろう 犬の飼い方

閩環境生活課(市役所1階1番窓口) ☎32-2056

犬と楽しく暮らしていくためには、周りに迷惑や危害を及ぼさない心配りが必要です。

マナーを守り、人と動物が共生できる地域づくりを心掛けましょう。

飼い主には、義務と責任があります

登録・届出が必要 新たに犬を飼い始めた時は、登録が必要です。また、登録後に住所が変わった時や犬が死亡した時は届け出が必要です

狂犬病予防注射を毎年受ける

鑑札と注射済票を首輪に付ける 鑑札は犬の身元を証明し、迷い犬になった時にも役立ちます

放し飼いの禁止 飼い主には、犬をつないで飼う義務があります

散歩でのマナー 犬をリードや鎖につないで確実に制御することや、糞の始末も飼い主の責任です



人と人をつなぎ、子どもに笑顔を 津山ファミリー・サポート・センター

閩津山ファミリー・サポート・センター

(アルネ・津山5階、津山男女共同参画センター「さん・さん」内) ☎31-8753

市は、子育てを地域の会員同士で支え合う組織「津山ファミリー・サポート・センター」(ファミ・サポ)を運営しています。6月末現在の会員数は、依頼会員551人、提供会員353人、両方会員99人の合計1,003人です。皆さんも、子育てを支援したり、してもらったりしてみませんか。詳しくは、お問い合わせください。

